

施策No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	生涯学習課	主管課長名	久見木 恵一
2-3	施策名	青少年の健全育成	関係課	学校教育課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	市民(青少年とその保護者、地域住民)	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197
実績値						41,278	40,483	39,692	38,905	
②青少年人口			見込値	人		6,270	6,250	6,200	6,180	6,130
						実績値	6,692	6,450	6,233	5,843
		見込値								
					実績値					
		③「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数	目標値	店舗		127	129	131	133	135
						実績値	118	113	112	109
		目標値								
					実績値					
		目標値								
						実績値				

目的	施策の意図	成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	心豊かにたくましく育っている。	①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合	目標値	%		47.0	48.0	50.0	51.0	53.0
実績値						52.7	46.6	57.4	55.6	
②コミュニティスクール参加人数			目標値	人		1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
						実績値	1,833	1,831	2,323	0
③「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数		目標値	店舗		127	129	131	133	135	
					実績値	118	113	112	109	
		目標値								
						実績値				

成果指標設定の考え方	心豊かにたくましく育っている成果指標については、①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合をアンケートにて調査。また、土曜日の活用の一環として実施している地域教育力推進事業(②コミュニティスクール)参加者人数を把握。③「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数の把握。
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の①桜川市人口は、毎年10月1日の常住人口。②青少年人口は、毎年4月1日の住民基本台帳による20歳未満の市民より求める。 ○①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は、市民アンケートより求める。②コミュニティスクール参加人数は、各コミュニティスクール実績報告より求める。③「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数は、「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数実績報告より求める。

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	

背景・要因

心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は、平成元年度は57.4%でしたが、令和2年度は55.6%と1.8ポイントの減少となった。コミュニティスクールは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見合わせたため判断できない。「青少年の健全育成に協力する店」の登録店舗数は、平成元年度が岩瀬地区43店舗、大和地区15店舗、真壁地区54店舗、計112店舗、令和2年度は、岩瀬地区42店舗、大和地区14店舗、真壁地区53店舗、計109店舗で昨年度と大きな変化はないが、近年の減少の理由としてはコンビニ等の普及によりタバコの専売店等その他経営者の高齢化による理由より閉店していることが挙げられる。実績値としては低下しているが、現状の成果としてはほとんど変わっていないと考えられる。

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	

背景・要因

①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は目標値を4.6ポイント上回った。
②新型コロナウイルス感染拡大の観点から事業の実施を見合わせた。
③「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数については、24店舗、目標値を下回っている。
心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合が目標値を上回っているが、一時的な増加と考えられる。今後もより一層充実した体験機会の提供を図る。

3. 施策の成果実績に対しての総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対しての総括	今後の課題・方針
<p>青少年の健全育成において、貢献度の高かった事業は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はたちの集い開催事業…はたちの集い実行委員会(新成人で構成)を中心とし、式典内容、構成を決定し式典を運営していくことで、形にとらわれない、オリジナルな式典の挙行がされている。コロナ禍においても2部制にし開催できた。 ・青少年育成桜川市民会議運営事業…感染防止策をとりながら例年とは形を変えてあいさつ・声かけ運動を行い、地域と子どもたちのつながりを作ることができた。青少年の主張大会は動画審査とし、発表の場を確保したことで、今の状況を自分たちの力で変えていこうという中・義学校生徒の強い意思がみられ大変有意義なものとなった。 ・市人権教育推進委員会運営補助事業…人権教育講演会をオンラインで行った。 ・学校警察連絡協議会運営助成事業…桜川警察署を講師に招いた研修会をオンラインで行った。 	<p>青少年育成市民会議の運営においては、現在各支部の統合への準備が進んでいる。運営体制や備品の取り扱い、会則など、統合検討委員会で調整を進め、令和4年度に統合ができるようにしていく。それにより、市内で統一した青少年育成事業を推進できるようにしていく。</p> <p>コミュニティスクール事業については、一部地域でのみ実施されている状況であるが、希望する市内の全小中学校で実施できることが望ましい。また、事業名についても県・国の別の事業と重複するため見直し、検討が必要である。</p> <p>家庭教育の充実のため、幼児教育施設など、対象者を拡大して、多方へ向けての計画を実施していく。また、合同研修会の開催も視野に入れ、参加しやすい日時、内容などを工夫して計画を進める。</p> <p>昨年度再開した高校生会の活動をより充実させ、高校生の自主的な活動による社会貢献の場や、魅力ある市づくり、郷土愛を育む活動などへの支援を図る。</p> <p>わくわくチャレンジ事業では、より多くの子どもたちが参加できるよう、教室の内容、開催方法、開催場所、募集方法、募集対象者など、工夫・改善を図り計画していく。また「おうちで『わくわくチャレンジ』」についても、コンテンツを追加するとともに、案内を積極的に発行し利用者を増やしていく。</p> <p>新型コロナウイルスの影響によりこれまでと同じやり方では実施が難しい事業については昨年度に引き続き様々な形の開催方法を検討しながら、各種事業を推進していく。</p>